

KANEFUS A



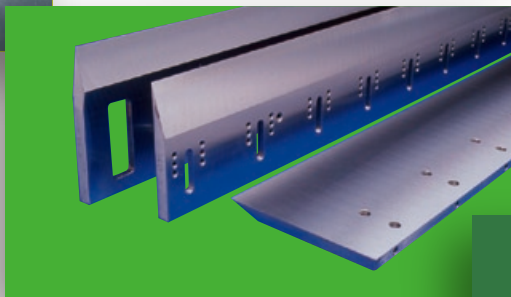
第66期

株主・投資家の皆様へ

証券コード
5984

中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日





取締役社長

渡邊 将人

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や住宅市場の改善で景気回復傾向にあったところへ財政問題が大きく影を落とし、欧州ではようやく景況感が上向き気配が見られるものの、金融財政問題は依然として解決されぬ状況が続きました。中国、インド、ブラジルなど

の新興国においても成長鈍化が長期化しています。一方、わが国経済は政府の経済・金融政策を背景に、過度な円高の是正・株価上昇によって輸出環境や企業収益の改善が見られるなど、緩やかながら景気回復の兆しがあるものの、来春の消費税増税の影響等、依然として先行きの見通しは不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。

売上高

国内における売上は、住宅ローン金利の上昇反転懸念や来年4月の消費税増税を控えた駆け込み需要、また復興需要などを背景に新設住宅着工戸数は増加し、住宅関連刃物は概ね堅調に推移いたしました。非住宅関連刃物が減少し前年同期から微増にとどまりました。一方、海外での売上は、東南アジア市場、米国市場とも増加し、欧州市場では現地通貨ユーロ建てでは減少と

なりましたが、為替の影響から円換算額では増加となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は79億1千9百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

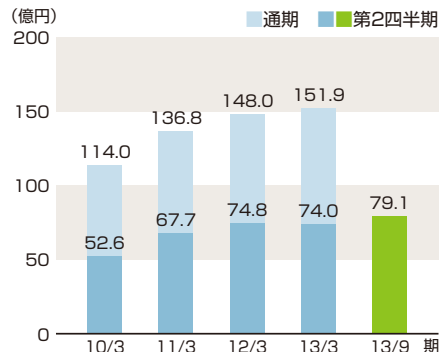
利益

利益面につきましては、海外生産子会社での設備増強にともなうコストアップ要因などにより、営業利益は3億1百万円（前年同期比38.7%減）となりました。経常利益は為替差益1億5百万円を計上したことなどにより4億5百万円（前年同期比11.5%増）となりました。また、四半期純利益は、特別利益で投資有価証券売却益2億1千8百万円を計上したことなどにより、3億8千1百万円（前年同期比52.2%増）となりました。

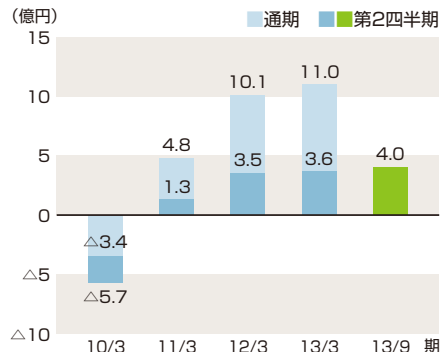
通期の見通し

通期の連結業績予想につきましては、連結売上高164億円、営業利益7億8千万円、経常利益8億8千万円、当期純利益6億8千万円を見込んでおります。

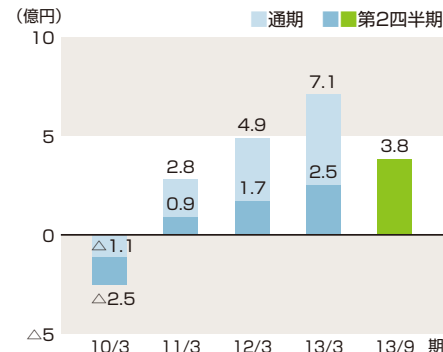
売上高



経常利益又は経常損失 (△)



四半期 (当期) 純利益又は純損失 (△)



TOPICS

グローバル展開の進捗

インドネシア現地法人(PT.カネフサインドネシア)新工場増設

PT.カネフサインドネシアは、同社敷地内に約2,500㎡の新工場を増設し、2013年3月、生産を開始しました。

ASEAN地域は天然資源保護の観点から植林木利用が急速に進んでおり、こうした世界の潮流に迅速に対応するため、また、国際的なコスト競争力を強化するため、木工用平刃の一貫生産ラインを構築しました。

この新工場は現在順調に稼働しており、今後は、ASEAN地域における地産地消にとどまらず、インドネシア工場から世界各国への輸出拡大も目指しており、当社グループ利益に大きく貢献するものと期待を寄せております。



中国広東省佛山市に営業拠点を新設

中国現地法人(昆山兼房高科技刀具有限公司)の華南地区営業拠点として、2013年4月に「佛山分公司」を設立しました。中国華北地区に2011年設立した「天津分公司」に続き、華南地区に拠点を置くことで、中国沿岸部市場をカバーすることができました。

華南地区は、大手自動車メーカーや自動車部品、パソコン、家具などのメーカーが多数存在しており、大変魅力的な市場です。佛山分公司は、再研磨セン

ターも併設した営業拠点であり、刃物メーカーとしてのノウハウを活かした高品質な再研磨サービスと、地の利を活かした迅速な顧客対応をもって、顧客満足の向上と更なる市場開拓を推し進めてまいります。



EMO展 2013年9月16日～21日

2年に一度開催される世界最大の工作機械展「EMO 2013」が、ドイツのハノーバーで開催され、当社も出展しました。同展示会は工作機械および金属加工における最高水準の技術と製品が展示されます。今回の展示会では、世界43カ国から2,131社が出展し6日間の開催期間中の来場者数は約14万2千人となりました。

当社は、金属切断用丸鋸や金属加工用工具を中心に展示し、新製品として刃先の耐欠損性を向上させた金属切断用丸鋸『ST-5P』を発表しました。

今後もこのような展示会を通して、カネフサブランドを世界にアピールしていきます。



ホームページをリニューアル

「企業・製品・サービスの認知を拡げる」を目指して、デザインや情報の再構成を進め、2013年9月にホームページをリニューアルしました。主な変更点は以下のとおりです。

●デザインを一新

これまでのホームページに比べてページ幅を広げ、トップページの見出しや内容がより見やすくなるよう、デザイン変更しました。

●使いやすく、分かりやすく

見たい情報に早く簡単にたどり着けるよう、トップページの情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにしました。

●製品カタログのダウンロードを可能に

当社の製品カタログ(PDF)をホームページからダウンロードできるようになりました。

兼房株式会社ホームページ <http://www.kanefusa.co.jp>



連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

科目	期別	当第2四半期末	前期
		平成25年9月30日現在	平成25年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産		12,836,080	11,937,167
固定資産		10,610,525	10,422,524
資産合計		23,446,605	22,359,691
(負債の部)			
流動負債		3,332,343	3,191,643
固定負債		727,890	746,186
負債合計		4,060,233	3,937,830
(純資産の部)			
株主資本		18,749,665	18,479,300
その他の包括利益累計額		636,707	△57,439
純資産合計		19,386,372	18,421,861
負債純資産合計		23,446,605	22,359,691

連結損益計算書(要旨)

単位:千円

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
売上高		7,919,166	7,404,351
売上原価		5,503,118	4,928,144
売上総利益		2,416,048	2,476,207
販売費及び一般管理費		2,114,183	1,983,616
営業利益		301,864	492,591
営業外収益		122,186	28,010
営業外費用		18,779	157,156
経常利益		405,271	363,445
特別利益		222,603	470
特別損失		8,470	22,387
税金等調整前四半期純利益		619,405	341,527
法人税等		237,802	90,828
少数株主損益調整前四半期純利益		381,602	250,699
四半期純利益		381,602	250,699

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:千円

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期
		平成25年4月1日から平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー		899,541	776,236
投資活動による キャッシュ・フロー		△336,569	△1,227,673
財務活動による キャッシュ・フロー		△111,238	△104,346
現金及び現金同等物に 係る換算差額		46,652	△11,445
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)		498,386	△567,228
現金及び現金同等物 の期首残高		2,815,961	3,328,698
現金及び現金同等物 の四半期末残高		3,314,347	2,761,470

総資産

流動資産は現金及び預金が増加したことなどにより、前期末比8億9千8百万円増加の128億3千6百万円となりました。固定資産は投資その他の資産が1億3千1百万円減少したものの、有形固定資産が2億7千2百万円増加したことなどにより、前期末に比べて1億8千8百万円増加の106億1千万円となりました。その結果、総資産は前期末比10億8千6百万円増加して234億4千6百万円となりました。

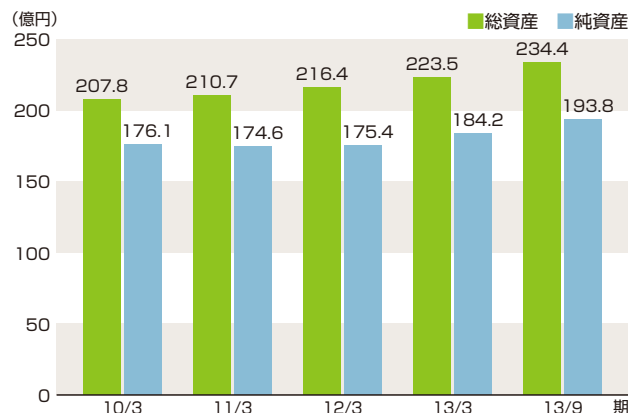
負債

未払法人税等の増加などにより、前期末比1億2千2百万円増加して40億6千万円となりました。

純資産

利益剰余金が前期末比2億7千万円増加し、その他の包括利益累計額が前期末比6億9千4百万円増加したことにより、前期末比9億6千4百万円増加して193億8千6百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.4%から82.7%となりました。

■総資産・純資産



Information

会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号	兼房株式会社 KANEFUSA CORPORATION	
設立	昭和23年11月25日	
資本金	21億4,250万円	
本社所在地	愛知県丹羽郡大口町中小口一丁目1番地	
従業員数	570名	
主要な事業内容	工業用機械刃物・工具・工作機械・機械部品の製造販売。 ならびに、関連する事業に対する投融資及び技術供与。	
主要な事業所	本社・工場	愛知県丹羽郡大口町
	支社	中部 関東 関西
	営業所	札幌 仙台 広島 高松 福岡
	海外駐在員事務所	マレーシア
子会社	PT.カネフサインドネシア カネフサヨーロッパB.V. カネフサインディア Pvt.Ltd. 大口サービス株式会社	カネフサUSA,INC. 昆山兼房高科技刀具有限公司 カネフサ ブラジル LTDA.

役員 (平成25年9月30日現在)

取締役社長	渡邊 将人	取締役	春日 晃
専務取締役	太田 正志	取締役	萬谷 哲朗
常務取締役	平子 哲朗	取締役	石田 信之
常務取締役	西尾 悟	取締役	山川 寿康
常務取締役	藤吉 芳久	常勤監査役	森 隆生
常務取締役	鈴木 仁	監査役	辻中 修
		監査役	鮎澤 多俊

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

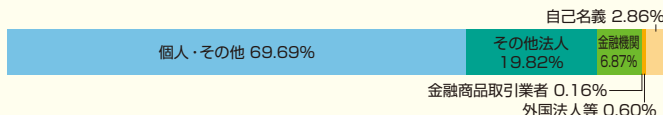
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	14,310,000株
株主数	2,065名

■大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大口興産株式会社	2,299	16.5
渡邊 裕子	1,220	8.7
太田 万佐子	1,181	8.4
兼房従業員持株会	888	6.3
渡邊 美奈子	765	5.5
渡邊 浩	743	5.3
渡邊 将人	426	3.0
太田 正志	400	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	262	1.8
株式会社りそな銀行	200	1.4

(注) 持株比率は自己株式 (409千株) を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当を実施する場合 9月30日 (3) その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を設定いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
おおよび
お問合せ先 電話 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.kanefusa.co.jp/koukoku.html>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が口座管理機関となっておりますので、以下記載の特別口座の口座管理機関に、お問合せください。

特別口座の口座管理機関 日本証券代行株式会社
連絡先 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843(通話料無料)

兼房株式会社



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。